

姫路

初優勝

灘中

疲れ知らぬ動きで魚崎下す

中学校総合体育大会

第20回兵庫県中学校総合体育大会は8月6、7の両日神戸中央球技場で行われ、姫路・灘中が初優勝を飾った。

魚崎中との決勝戦では、全員が休みなく走りオープン攻撃を得意とする積極的なサッカーを展開した。特に、効果的なパスを前線に送った鶴鷹の活躍が光っていた。魚崎は個人技のうまい二、三の選手もいたが、走力と意志力の差で灘中に屈したといえる。

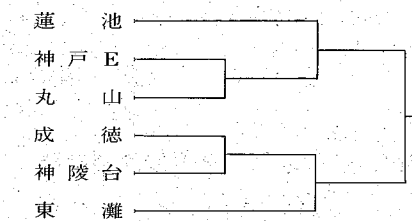
魚崎に惜敗したが、テクニックとパスワークのすぐれた辰美は、これまでの淡路勢にはみられなかった技巧派で、優勝してもおかしくないだけの実力をもっていた。三木は1回戦で浜坂に大勝したが、チームとしての理解

組み合わせ決まる

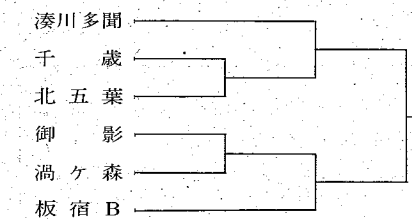
神戸市スポーツ少年団リーグ4部

神戸市スポーツ少年団リーグ4部(小学5年以下)は9月5日から後期に入るが、これに先立って8月21日組み合わせ抽選会が行われた。前期リーグ戦の成績によってA、B、Cのグループに分かれており、トーナメント戦だけにどのチームも予断を許さない。

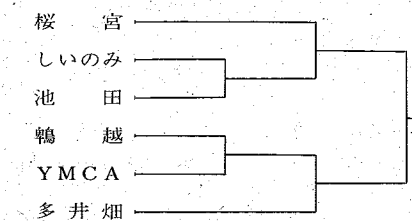
Aグループ



Bグループ

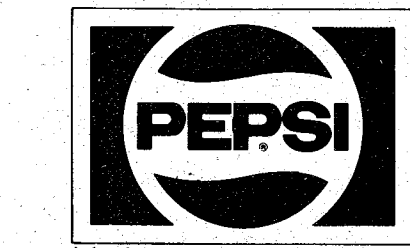


Cグループ



力が今ひとつ欠けており、困難な状況のもとでもプレーができるきびしさがほしい。浜坂、氷上にとって2回戦への壁は厚かったが、中学生らしいきびしきプレーは好感がもてた。なお、中播代表チームの優勝は12年ぶり。

【灘】			【魚崎】		
辻本	聡彦	GK	井上	正則	
熊野	耕司	FB	藤松	欣三	
竹島	淳司		浦野	真治	
嵐	将司	HB	田中	誠二	
鶴鷹	秀司		戸尻	克明	
金沢	浩二	FW	上松	真樹	
北藤	欣志		藤本	浩雅	
斉藤	孝司		宮本	智文	
夏目	孝至		山本	智広	
深谷					



大丸と神友で決勝

神戸市レクリーグⅢ部

“だれでも気軽に楽しめるように”と年に1回、神戸市協会が主催しているレクリエーションリーグは7月25日から行われ8月21日、Ⅲ部の予選リーグが終了し、その結果、大丸と神友が優勝をかけて10月神戸中央球場で争うことになった。Ⅲ部は選手の年齢が19から29歳までで、大丸とエンジョイは今年が初参加。同志社大学の元レギュラーが数名いる大丸は、他チームを圧倒し4戦全勝。

Ⅱ部(30から39歳)は予選リーグの最終試合を残しているが、10月にはこのⅡ部とⅠ部(40歳以上)の決勝も同時に行われる。

レクリーグⅢ部予選リーグ成績

順位	チーム	大丸	神友	ガク	チス	エンジ	勝点	得失点差
1	大丸		○2-1	○2-0	○4-1	○5-0	8	11
2	神友	●1-2		●1-2	○4-3	○2-0	4	1
3	ガクターズ	○0-2	○2-1		○0-2	○3-0	4	0
4	チイス	●0-1	●3-4	○2-0		○1-0	4	-1
5	エンジョイ	○0-5	○0-2	○0-3	○0-1		0	-7

第20回兵庫県中学校総体結果

(8月6、7日 神戸中央球技場)			
浜坂(但馬)	0	3	優勝
三木(東播)	13	6	
大庄北(阪神)	0	6	灘中
灘(中播)	1	1	
辰美(淡路)	1	1	魚崎
魚崎(神戸)	2	0	
氷上(丹有)	0	0	中
竜野西(西播)	8	0	

神戸中央球技場だより

=ペレ来神=



(写真提供はペプシコーラ)

9月5日(日) 日本リーグ2部	
ヤンマー・クー帝 人	16:30
田辺一本田技研	18:30
9月11日(土) 日本リーグ1部	
ヤンマー 古河電工	19:00
9月23日(祝) 国際親善試合	
全日本選抜	
対ニューヨーク・コスモス	18:00
10月11日(振り替え休日) 日本リーグ1部	
ヤンマー 日タ	14:00

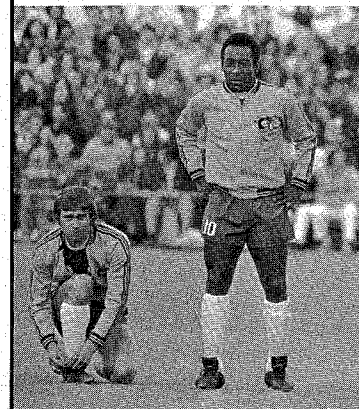
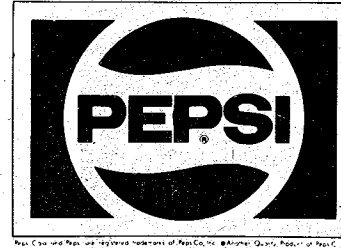
お知らせ

- 本紙発行の信条は次の五つです。
- 1、わたくしたちはサッカーニュースを届けます
 - 2、わたくしたちはサッカー仲間の手を結びます
 - 3、わたくしたちは青少年のサッカーを育てます
 - 4、わたくしたちは市民のサッカー熱を高めます
 - 5、わたくしたちはサッカー王国神戸を夢みます
- 本紙についてご意見をお聞かせください。
- 一 北四郎
〒651-13 神戸市北区有野台7丁目16-6
上野勝幸
〒652 神戸市兵庫区東山町3丁目東山寮

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として50円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒657 神戸市灘区上野通6丁目3-12
加藤 正信 ☎ 078(861) 3838



9月23日 神 戸 あのパレがやってくる!

コスモスと 見逃せないペレの妙技

全日本対戦

20世紀に世界が生んだ最も偉大なスポーツ選手ペレが、いよいよその雄姿をあらわす。この限りなくあざやかなグリーンの上で、どんなすばらしいプレーを披露してくれるのだろうか。ペレといえば「10番」、10番といえば「ペレ」。常に最善を尽くすペレは、きっと神戸っ子をはじめ多くのファンを魅了するにちがいない。

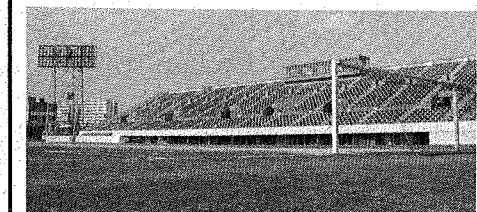
コスモスと日本選抜のメンバーは次の通り。

【NYコスモス】

団長 クライブ・トイ▶監督 ゴードン・ブラドリ▶コーチ ジュリオ・マッセイ▶トレーナー ジョエル・ローゼンシュタイン▶選手 GK=B・リグビー、K・クーパー、DF=B・ローワン、K・エディ(主将)、C・ミッチェル、M・ディロン、F・サウア、C・マッコンビル、MF=T・ガーベット、N・モライス、R・ミフリンD・クレメンツ、FW=T・フィールド、ペレ、J・シーガ、G・キナーリヤ、B・ティニオン、C・ベスト、D・スメットハースト

【日本選抜】

監督 二宮寛▶選手 垣内輝久、小林ジョージ、吉村大志郎、阿部洋夫、今村博治、釜本邦茂(以上ヤンマー)、佐藤長栄(古河) 古田篤良、小滝春男(以上東洋) 小柴健司(早大) 今井敬三(フジタ) 藤島信雄(鋼管) ジャイロ・マトス(永大) 藤口光紀、高田一美(以上三菱)



ペレはどんなプレーをみせてくれるだろうか

ニューヨーク・コスモスは1971年にNASLに入った新しいクラブだが、巨大企業をスポンサーに「絶対カムバックしない」というペレを連れてきたり、今季はイタリア

のエース・ストライカー、キナーリヤを引き抜くなど財力にものをいわせて強力なチームを作りあげた。NASLでは最高の人気チームであり、今季のNASL東地区リーグ24試合で平均2万人の観衆を集めている。

今季のコスモスの東地区での記録をたどてみると、攻撃的なゲームに専念しているようだ。とくに、ペレとキナーリヤの攻撃は破壊的で2人で32点をかせいでいる。ペレは自分でもゴールするが、アシスト点が多くゲームメーカーの役を存分に果たしている。

☆ 神様ペレ ☆

あらゆる競技を通じて世界最高のプロ・スポーツマンはペレであるといわれている。本名をエドソン・アランテス・ドナシメントといい、1940年10月23日ブラジルのトレスコロソにサッカー選手の息子として生まれた。なぜペレと呼ばれるようになったかは、本人にも分からないが特に意味はなさそうである。

15歳の時に1部リーグのサントスと契約し、最初はアマのチームでプレーしていたが、1957年1月12日スウェーデンのAIKストックホルムとの試合に、はじめてプロとしてデビュー、それからすぐにブラジル代表にもなった。1958年スウェーデン・ワールドカップに参加、準決勝のフランス戦でハットトリックを達成、決勝でもスウェーデンを破り、すい星のごとく出現したペレに、世界の目はくぎづけとなった。彼が17歳の時である。

以来、ペレは超人への道を歩む。計4回のワールドカップに出場、1970年メキシコ大会では円熟の域に達し、ジュールリメ杯をブラジルに永久保持させた。この間、1969年にはバスコ戦で前人未踏の1000ゴールを樹立している。71年にブラジル代表から、また74年にはサントスFCからも引退した。その後、国際ユースサッカー振興計画のリーダーとなって各国をまわり、少年の育成に力を注いだ。これからはサッカーに対する考え方の一面をのぞくことができる。74年には清水でもサッ

カー教室を開いている。

昨年6月に約27億円といわれる世界最高の契約金で、アメリカのコスモスに入りプレーヤーに復帰した。現在1250本以上の得点をあげ、神様ペレの健在ぶりを示している。背番号「10」は永遠である。



☆ ペレ以外の戦力を探る ☆

コスモスの会長兼ゼネラル・マネージャーは元ディリー・エキスプレスのサッカー記者で、ペレを何千キロも追いかけて復帰させた精神的な人。ヘッドコーチは元シェフィールド・ユナイテッドの監督ケン・ファーフィー氏で、同氏は米国建国200年記念カップ大会では「チーム・アメリカ」の監督を務めた。キナーリヤは5月17日にデビューしていきなり2ゴールをマーク、7月28日のダラス・トルネード戦でハットトリック、さらに8月10日の東地区最終戦対マイアミでは5点をあげた。ペレ、キナーリヤという“スーパースター”のほかにイングランドのキース・エディ、ペルのラモン・ミフリン、米国人のボブ・リグビー、ウェルナー・ロートといったバラエティに富んだ陣容を形成している。

資料と写真の提供は

サッカーマガジン

釜山選抜、兵庫を圧倒

日韓交歓試合

友好のきずな深める



前半25分、桜木ヘディングでシュートならう
(8月13日、神戸中央球技場)

釜山選抜 3 (2-0) 1 兵庫県高校選抜

兵庫選抜は立ちあがりから守勢に追いやられ、相手ゴール前までボールを運ぶことができない。技術、戦術、体力の差ははっきりしていた。今年の4月に兵庫県高校選抜が釜山市へ遠征し、東亜高と戦って0-1で惜敗している。今回の釜山選抜は東亜高の選手は3名で、あとは他の高校生や大学生を補強しており、実力はもちろん東亜高よりはるかに上。雪辱の意気に燃える兵庫はボールへ早い寄りをみせ、次第にペースをつかんできた。25分には桜木のヘディングがゴール右すみを割ったかにみえたが、GKが身をていして防ぎスタンドをわかせた。しかし、兵庫の健闘もここまでで、釜山は31、35分に2ゴールを奪った。

基礎がしっかりしている釜山選抜

釜山選抜の選手は背はそれほど高くないが、体格は丈夫で足腰が強く、しかも闘志にあふれている。こういった特徴を生かして、自分たちにあったサッカーを作りあげていた。まず第一に、ボールコントロールがよい。兵庫の選手のボールキープは、相手との間に体を入れる原則を守るのに精一杯なのに対して、釜山の選手は目的を考えながらボールを持っている。つまり攻撃の選手なら、今ボールをもっていることが次の展開にどう影響するか判断し、バックはどのようにキープすれば、パスが前線につなげるかそのパターンを常に頭に描いてボールを自分の支配下においている。これはボディバランスや状況判断にも関係しており、彼らのサッカー感覚の高さを示していた。

次に、長距離パスが効果的に利用されていた。ウィングからの攻撃が多かったが、逆のオープンスペースがあいているとみれば、必ずつクロスの長距離パスを出して、兵庫バックをくずし、また同じサイドの攻撃でも、バックの背後へ低く流れるようなボールを出して、そこに中央の選手が走り込むパターンを

県リーグに参加しているため、実質的にレベルダウンしていることは否定できない。なお後期は9月から開始の予定。

順位	チー ム	兵庫 朝鮮	神戸 市役所	神戸 製鋼	葦合 クラブ	マック エルフ	川鉄 建材	勝点
1	兵庫 朝鮮		1●-2	6-2	5-0	2-0	3-0	8
2	神戸市役所A	2-1		1-0	1-0	0●-1	4-1	8
3	神戸 製鋼	2-6	0●-1		3-1	5-4	6-1	6
4	葦合クラブ	0●-5	0●-1	1-3		2-1	4-3	4
5	マックエルフ	0-2	1-0	4-5	1-2		0△-0	3
6	川鉄 建材	0-3	1-4	1-6	3-4	0△-0		1

繰り返して使った。それを支えるのは朴祥録、金鶴守のインサイドプレイヤーの動きであり、全員が長い距離をあきらめずに走ることが重要な要素となっていた。

兵庫の強化に大きな意義

試合が終わったあと佃幹夫監督は「残念ながら相手の方が一枚上手。彼らはスピードと筋力のトレーニングを重視している。走りながらボールを出す、受けるコントロールが正確で、リズム感のある攻撃は大いに勉強したい」と語り、一方釜山選抜の木重均監督は「兵庫は走り込みを十分にやり、動きの質と量を高めること。そのためには個人技の向上が……」と若い力にアドバイスを与えていた。

なお、8月12日兵庫県社会人青年代表チームとの試合も釜山選抜が快勝した。

釜山選抜 5 (2-0) 0 兵庫県青年選抜

おわび 釜山選抜チームの来日が1日遅れて8月11日予定の試合が変更になり、ご迷惑をかけましたことをおわびいたします。

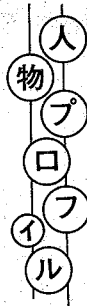
兵庫県サッカー協会

V2ねらう三菱神戸

関西リーグ後期始まる

関西社会人リーグは9月5日から後期が始まった。前期を2位で折り返した三菱神戸は、暑い夏場に苦しい練習を積み、昨年に続いて今年も優勝をと、イレブンは大はきり。このほか、新日鉄広畑、兵庫教員らも積極的に走り込んで後期に望みをかけるだけに、白熱した好ゲームが見られよう。

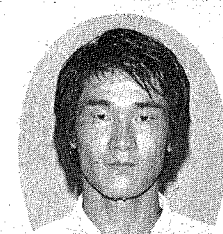
9月5日(日)		
西京極	12:00	電々近畿一三菱京都
	14:00	三菱神戸一近江ク
うつぼ	12:00	大日電線一新日鉄
	14:00	大阪教員一和歌山教
9月12日(日)		
淀	12:00	近江ク一兵庫教員
	14:00	和歌山教一電々近畿
9月15日(祝)		
うつぼ	12:00	三菱神戸一大日電線
	14:00	新日鉄一三菱京都
9月19日(日)		
万国博	12:00	和歌山教一三菱神戸
	14:00	兵庫教員一新日鉄
西京極	12:00	三菱京都一大阪教員
	14:00	大日電線一近江ク
9月26日(日)		
万国博	12:00	三菱京都一大日電線
	14:00	電々近畿一三菱神戸
姫路	12:00	和歌山教一近江ク
	14:00	大阪教員一兵庫教員
10月3日(日)		
淀	12:00	兵庫教員一和歌山教
	14:00	新日鉄一電々近畿
甲西	12:00	大阪教員一三菱神戸
	14:00	近江ク一三菱京都
10月10日(日)		
万国博	12:00	新日鉄一和歌山教
	14:00	近江ク一大阪教員
淀	12:00	兵庫教員一三菱京都
	14:00	大日電線一電々近畿



明日をになうホープ

全日本ユース代表に選ばれ、海外遠征に初参加、いま大きく飛躍を期す

桜木浩二



すらりと伸びた長身、そしてあいきょうのある顔は、だれもが話しかけてみたくなる親しみやすさがたがう。全日本ユース代表の一員としてユーゴスラビア・リエカ遠征から帰国してしばらくすると、兵庫県選抜の練習が待っていた。「ハードな練習の毎日で少し疲れています」と言うものの、口ほどではなさそうで若いエネルギーがあり余っているといった感じ。一見おとなしうだが、内にひめたるファイトは人一倍強い。ユース代表としてユーゴ遠征に参加しての感想はどうだったか。「とてもいい勉強になりました。外国の優秀な選手のプレーもさることながら、仲間の選手といっしょにプレーすることで、多くのものを得ました。もっとも強く感じたのは練習のきびしさです。選考合宿と強化合宿が1週間ずつあったのですが、どの顔も真剣なまなざしでボールを追っているのです。それに守備の重要性も知りました。」

忘れぬ小学生のころ

数多くの選手を育てた兵庫の中でも、新しい感覚をもった桜木のプレーはひときわ注目されている。昨年秋の国体で、桜木の感覚的、動物的なセンスは大きく成長し、高校サッカーでは行くところ敵なしであった。サッカーを始めたのはいつごろですか。「小学4年の時からです。成徳の林幸男先生からサッカーのABCを教えてもらいました。公園のすみでボールをけったり、ドリブルをしているうちに正式なチームにまわり、スポーツ少年団リーグに参加するようになりました。6年の時には台湾へ遠征し、そのころからサッカーのとりこになってしまったのです」。桜木選手は当時をなつかしく思い出しているようだったが、はきはきとこたえてくれる態度はいかにもスポーツマンらしく気持ちがよい。

傑出した素質

「先日の釜山選抜との試合は決して負ける

＝ジュニアフェスティバル＝

初秋の空に 歓声あがる

清水が5部を制覇

夏の終わりをつげるかのように小さな赤とんぼがすいすいと飛びかうグラウンドで8月28、29、30日、各地の少年たちが参加して第6回ジュニア・サマーフェスティバルが行われた。28日午後1時、全選手が神戸中央球技場に勢ぞろいし、入場行進が始まった。夏休みの練習ぶりをあらわして真っ黒に日焼けした選手の顔には闘志がみなぎっていた。玉井操・神戸F.C会長と北川貞義・同副会長のあいさつのあと、全選手を代表して神戸F.CボーイズAの吉田茂之選手が力強く選手宣誓。開会式が終わると、4会場に分かれて3日間にわたる熱戦が展開され、日ごろ鍛えた力と技を競いあった。個人技とチームプレーにすぐれた清水が、他チームを圧倒し5つの部で優勝。

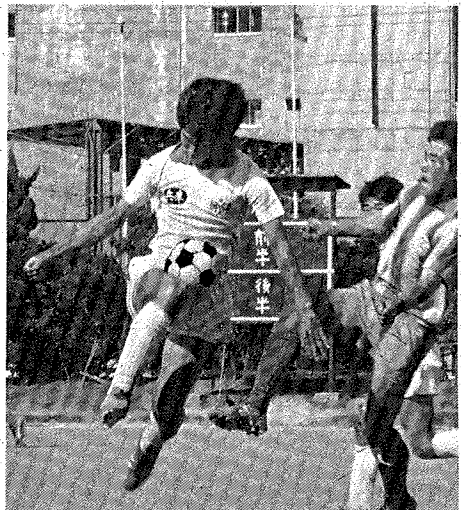
相手ではなかった」と残念がる。「釜山は練習も多くまとまっていたが、ボンボンとけってくるチームと違い、忠実に守ればやれたと思います」。守備の時は中盤までさがり、攻めではやりの穂先として相手ゴールに突っ込む縦横無尽の動きをする桜木は、小さなグライフといった感じさもある。CFとしてすぐれた素質をもっているのに「ぼく本当はFBをやっていたという気持ちもあるんです」と、人なつっこい細い目をいっそう細めてこう語りかけてきたのには驚いた。「将来どこの大学へ行きたいのだと人から聞かれるのですが、とにかく今は国体でがんばることしか頭にありません。『兵庫もあんなにすばらしいサッカーができるのか』と全国の人たちに言ってもらえるよう、力を尽くすことが今のぼくに与えられた使命だと思います。ユースの合宿で監督さんが言われたのですが、小学生のころボールをけったあの喜びを、高校、大学まで持ち続けることが大切ではないでしょうか」。弱冠18歳。これからが正念場である。まわりの期待が大きいだけに、人には言えない苦しみが多いかもしれない。「きついけど、ぼくはやめません」という、その一言はうれしい。

大志をいだけ

きて、桜木選手をよく知る何人かから聞いてみた。「向上心が強く、常に考えながらプレーしようとする熱心さには感心します。自分よりうまい選手をみると、目を輝かせて研究しています。それにカンのようなも特長、ゴール前へとび込む鋭さは抜群です。またバックの弱い場所つまり背後へ入り込むタイミングのよさもあげられますね」。ただ、一つ注文したいのは、相手を振り切るプレーに早さを増すことであろう。それに体とくに上半身を鍛えてほしい。身長はということない。これだけの上背があれば、決して空中戦に負けないはずだ。体をはった接触プレーをマスタ

一すれば、きみを防ぐことのできるバックはいない。

三菱重工神戸との練習マッチを終えた桜木選手の横顔に、夏の太陽が照りつけ若い汗が輝いている。きゅっとくちびるを結んだそのプロフィールには「これからみてください」とい wanna ばかりの力強さがみなぎっていた。



みごとにボールコントロールをみせる桜木選手
(三菱重工神戸との練習試合より)

メモ さくらぎこうじ 昭和33年5月13日生まれ、18歳。神戸市出身。成徳小のときからサッカーに親しむ。鷹匠中から神戸高に入って本格的な選手に。50年国体で準優勝した兵庫県代表チームのCF。51年6月、全日本ユース代表に選ばれユーゴへ遠征。神戸高3年、身長180センチ、体重69キロ。神戸市灘区大和町3丁目。

〈上野 勝幸〉

神戸市社会人リーグ運営会議日程 10月14日(木)

11月18日(木) 1月20日(木)
12月16日(木) 2月17日(木)
3月17日(木)

◎本紙は次のスポーツ店にもあります

関正スポーツ

生田区下山手通6丁目65 ☎ 078(371) 0857
兵庫県庁 300m西側

灘スポーツ

灘区倉石通5丁目1-8 ☎ 078(861) 4671
市バス水道筋6丁目上がる 100m東側

ヤマダスポーツ

葦合区能内橋通6丁目3 ☎ 078(241) 9317
雲中小学校前

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎ 078(576) 0870
バンドウ化学南



力強く選手宣誓する神戸F.C.・吉田茂之選手

また、29日には堀田哲爾氏が、指導者を対象とした実技講習会を行ったあと、夕食後は指導者全員が少年サッカーの育成について熱心な討議をかわし、大会は多くの成果をあげて30日幕をとじた。

各部の優勝チームは次のとおり。

*Ⅰ部(中学3年以下) 清水 *Ⅱ部(中学2年以下) 藤枝 *Ⅲ部(中学1年以下) 清水 *Ⅳ部(小学6年以下) 清水 *Ⅴ部(小学5年以下) 清水 *Ⅵ部(小学4年) 清水